

2021 年度 世界展開力強化事業（インド）ILDP インターンシップ募集要項

【重要】

新型コロナウイルス感染症の影響等により、2021年10月5日現在、外務省は派遣を予定している国・地域に対し、感染症危険情報レベル3「渡航中止勧告」を発出しているほか、派遣先国・地域は日本からの入国制限及び入国後の行動制限を行っております。このため、実際の海外派遣実施の可否判断は派遣開始日（渡航予定）の2か月前の時点で行い、状況によっては、海外派遣は延期又は中止となりますので、あらかじめご了承の上、応募願います。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえて、申請様式【Form 3】の指導教員の承諾書における、印鑑の押印を省略します。

【目的】

広島大学は、インドの技術系トップ大学及び政府系技術研究所、社会経済系トップ大学と共同で、海外インターンシップを開始します。革新技術を日印社会へ実装する高度イノベーション人材の養成を目的とし、参加学生は「自己理解・自主性」の2つのコンピテンシーを目指します。

- * 本研修は、文部科学省が実施する「平成 29 年度大学の世界展開力強化事業（タイプ A・インド）」広島大学採択事業「先端技術を社会実装するイノベーション人材育成のための国際リネージュ型学位プログラム」に基づき実施します。本事業の詳細については、ホームページ (<http://www.ildp.hiroshima-u.ac.jp/ja/>) をご覧ください。

【概要】

広島大学の正規課程の学生が、本学が協定を結んでいるインド8大学*または、8大学を通じたインドの企業等で、インターンシップを行います。

(*)インド工科大学デリー校 (IIT-DELHI) , インド工科大学ボンベイ校 (IIT-BOMBAY) , インド技術科学大学シブプール校 (IIST-SHIBPUR) , ビララ技術科学大学ピラニ校 (BITS-PILANI) , インド中央電子工学研究所 (CSIR-CEERI) , インド経営大学院アーマダバード校 (IIM-A) , インド工科大学ハイデラバード校 (IIT-NYDERABAD) , インド中央薬物研究所 (CSIR-CDRI)

1 募集対象

対象者： 応募時に広島大学の正規課程（学部生・博士課程前期生・博士課程後期生）に在籍しており、派遣終了後も引き続き本学の正規課程に在籍できる学生

派遣人数： 若干名

参加資格： （以下の全てを満たしていること）

- ① インターンシップの目的が明確で向上心があること
- ② 派遣先での活動を行うために必要な英語能力を有する者（TOEIC 600 以上あることが望ましい）
- ③ その他、派遣予定機関の指定する要件を満たしているもの
- ④ 海外での業務に強い意欲があり、心身ともに健康であること

2 応募方法

（1）応募締切 2021年10月27日（水）正午

（2）応募方法

応募を希望する場合は、以下の応募書類を準備の上、応募締切までにオンラインフォームから必要事項の入力及び応募書類の提出を行ってください。なお、応募締切までに手続きを完了できない事情がある場合は、予め問合せ先に連絡の上、相談してください。

【申請書類一覧】

書類	内容	フォーマット
①申請書		所定様式【Form 1】
②志望理由書	英語または日本語で記述，A4 で 1～2 枚程度，手書き不可	所定様式【Form 2】
③指導教員の承諾書		所定様式【Form 3】
④履歴書（英語）		自由形式

※所定様式の Form 1, 2, 3 は，下記ウェブサイトからダウンロードできます。

<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/studyabroad/ildp/ildpinternship.html>

【応募オンラインフォームURL・QRコード】

<https://forms.office.com/r/azDcAxcGG5>

※「メディアセンターのアカウント名@hiroshima-u.ac.jp」と「広大パスワード」でログインしてください。



3 選考方法

- | | |
|-------|----------------------|
| 第一次審査 | 書類審査（本学で実施します） |
| 第二次審査 | 書類審査（インドの受入大学で実施します） |

※第一次審査通過者には、11月12日（金）をめどに連絡します。その後、各派遣大学に応じて、追加の書類等を準備して頂き、第二次審査となります。大学によって必要な書類は異なります。

4 派遣期間

- ・2週間以上
- ・今回の募集は、2021年12月以降に渡航を開始し、2022年3月20日までに終了する派遣が対象になります。

5 応募から派遣までのスケジュール（予定）

2021年	10月27日（水）	募集締め切り
	11月12日（金）	第一次審査結果通知（派遣推薦機関の決定）
	11月中旬	二次審査のための書類の準備
	12月上旬	第二次審査結果通知（受入機関・期間の決定）
	12月～	インターンシップ派遣開始帰国後順次
2022年	3月	帰国・活動報告会等の開催

6 経費

- 日本ー受入機関最寄りの空港国際航空券（エコノミークラス）については、本学が手配・購入の上、派遣学生に支給します。
- 国内旅費（交通費・宿泊費等）、現地での移動費、宿泊費等、本学指定の海外旅行保険加入料（派遣期間により異なる）、予防接種に係る費用、旅券（パスポート）取得費用、査証（ビザ）取得に係る費用については、派遣学生の個人負担とします。また、研究費も原則として個人負担となります。
- 受入機関からの給与・手当等は原則として支給されません。

<奨学金の支給について>

本プログラムによる派遣学生のうち、独立行政法人日本学生支援機構（以下 JASSO）が実施する海外派遣留学制度（協定派遣）の支給要件を満たす者には、1人あたり 60,000 円を奨学金として支給する場合があります。詳細については別途お知らせします。なお、奨学金を受給した場合、JASSO が課す事前・事後課題、留学成果報告及び調査・アンケートへの協力等が義務付けられます。

【海外留学支援制度（協定派遣）（JASSO のホームページ）】

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/haken/index.html

- ① 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者。
- ② 在籍大学等における学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、以下（※）に示す方法で求められる、在籍大学等における奨学金支給対象者選考時の前年度の成績評価係数が 3.00 満点中 2.30 以上であること。
- ③ 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者。
- ④ 派遣プログラム終了後、在籍大学等に戻り学業を継続する者又は在籍大学等の学位を取得する者。
- ⑤ 派遣プログラム参加にあたり、他団体等（在籍大学等及び派遣先大学等を含む。）から派遣プログラム参加のための奨学金（渡航費及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない。）を受け、奨学金月額 6 万円を超えない者。

※成績評価係数の算出方法

前年度の成績評価を次の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて、小数点第3位を四捨五入して算出してください。なお、履修した授業が単位制を採らない場合は、科目数を全て単位数に置き換えて算出してください。

4 段階評価	成績評価				
	秀	優	良	可	不可
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

7 海外インターンシップ参加に伴う修学・学籍上の取扱いについて

- 海外インターンシップに参加する場合は、「留学願」を所属学部・研究科の学生支援担当に提出の上、必ず学長の許可を得なければなりません。
- 海外インターンシップに参加の上、基準に定める学修成果を得たと判断した場合は、修了証を授与するとともに、学修成果に基づき所定の授業科目（学部生：ILDP Global Internship Basic (J to I), 博士課程：ILDP Global Internship Advanced (J to I)) による単位認定が行われます。

8 海外渡航に係る安全管理について

- 海外渡航中の安全意識向上のため、渡航前に本学が開催する海外渡航リスク管理セミナーや、参加学生を対象としたオリエンテーションには必ず出席してください。また、「外務省海外安全ホームページ」等を活用の上、渡航先の情報収集を渡航前だけでなく、渡航期間中も行ってください。

【外務省 海外安全ホームページ】

<https://www.anzen.mofa.go.jp/> / <https://www.anzen.mofa.go.jp/study/>

- 外務省渡航情報サービス「たびレジ」への登録を渡航前に必ず行ってください。また、旅券法に基づき、日本国籍を持つ者が3ヶ月以上日本国外に滞在する場合は、「在留届」を在外公館に提出することが義務付けられていますので、渡航後に必ず提出手続きを行ってください。「たびレジ」や「在留届」による登録情報は、現地日本大使館又は領事館が、渡航先での危機発生時の安否確認等に利用されます。

【外務省渡航登録サービス（たびレジ、在留届電子届出システム ORRnet）】

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>

- 渡航中の連絡情報を把握するため、渡航前に必ず「緊急連絡先届」を作成の上、所属学部・研究科の学生支援担当へ提出してください。
- 本プログラムにより派遣される学生は、本学指定の海外旅行保険（保険料は渡航期間により異なる）への加入が義務付けられます。また、派遣先大学等が別途指定する保険への加入を求められる場合があります。
- 2021年 10月現在、インド入国に当たり日本人に義務付けられている予防接種はありませんが、インドへの渡航に際しては A 型肝炎、腸チフス、B 型肝炎、破傷風、日本脳炎、狂犬病の予防接種が推奨されています（厚生労働省）。心配な方は、任意・自己負担にて予防接種を受けてください。

【インド赴任・旅行前に受けておきたい予防接種（在インド日本国大使館のページ）】

https://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/Medical_New/vaccines2.html

【世界の医療事情（インド）（外務省ホームページ）】

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/india.html>

【厚生労働省検疫所 FORTH (For Travelers' Health)】

<https://www.forth.go.jp/destinations/country/india.html>

【海外旅行の健康管理 -感染症対策-（広島大学保健管理センターのページ）】

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/health/gentei/kansenkaigai.html>

【その他、参考 URL（広島大学保健管理センターのページ）】

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/health/kansencenter1409.html>

- 自然災害や国際情勢等の事情により、派遣の中止や派遣期間の変更を行う場合があります。また、派遣中であってもこれからの事情により帰国を命ずる場合があります。いずれの場合も既に支払済みの費用や帰国等に係る費用等については、原則、派遣学生の負担となります。なお、本学では、外務省海外安全ホームページの「海外危険情報」に基づき、学生の海外派遣の判断を行います。

海外生物サンプルの取得や研究には、生物多様性条約と名古屋議定書に基づく ABS (Access and Benefit Sharing) 手続きが必要です。派遣先大学・企業等において該当する業務や研究活動を行う場合は、指導教員とも相談の上、必要手続きを行ってください。

【ABS について（ABS 学術対策チームのページ）】

http://nig-chizai.sakura.ne.jp/abs_tft/

- その他、海外渡航に係る安全管理のため、派遣学生には本学作成の「海外渡航リスク管理マニュアル（学生編）」や、外務省が発行する「海外安全 虎の巻」等に基づく対応が求められます。

【海外渡航リスク管理マニュアル（学生編）】

<https://momi.ji.hiroshima-u.ac.jp/momi.ji-top/learning/risk-kanri.html>

【海外安全 虎の巻（外務省発行）※pdf ファイルが開きます。】

<https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>

9 その他

- 旅券（パスポート）の取得、査証申請、渡航に係る必要手続きについては、派遣学生選考後に実施するオリエンテーション等での説明に基づき、各自の責任で計画的に行ってください。旅券又は査証が取得できず、渡航ができなくなった場合において、本学は責任を負いません。
- 派遣先大学・企業での海外インターンシップ参加に必要な各種手続き（派遣先における業務・研究計画、旅行日程の調整等）についても、適宜指導教員や派遣先大学・企業等の担当者と相談の上、主体的に進めてください。なお、インターンシップ期間中は全て、学生の責任において自己管理を行っていただきます。

- 派遣学生として選考された後に応募資格を満たさなくなった場合、又は派遣先大学・企業等からの受入れ許可が出ない場合、派遣を取り消す場合があります。
- 海外インターンシップ参加学生は、渡航前と渡航後に BEVI (the Beliefs, Events and Values Inventory) テスト, TOEIC の受験を課す場合があります。詳細については別途お知らせします。
- 派遣学生は、インターンシップ終了後 1 月以内に「成果報告書」を作成の上、グローバルキャリアデザインセンターへ提出することが義務付けられます。また、学内又は学外で開催される成果報告会等での発表, ILDP の事業評価に関する調査・アンケートへの回答, 協定校等からのインターンシップ及び海外インターンシップを希望する学生への支援並びに広報活動等に全面的に協力いただきます。

10 問合せ先

● 申請手続き及び応募書類提出先についてグローバルキャリアデザインセンター

東広島キャンパス学生プラザ 2 階

E-mail gecbo@hiroshima-u.ac.jp / career-group@office.hiroshima-u.ac.jp

Tel 082-424-6213 / 082-424-6165

(※) メール宛先は必ず両方のメールアドレスを記入のうえ、ご連絡ください。

● 研修プログラムの内容について

先進理工系科学研究科 藤原 章正 教授

ILDP 事務室 国際協力研究棟 2 階 213 号室

E-mail ildp-program@office.hiroshima-u.ac.jp

Tel 082-424-6954

【国際リネージュ型学位プログラム (ILDP) ホームページ】

<http://www.ildp.hiroshima-u.ac.jp/ja/>

<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/ildp.html>